ANEST IWATA

設置検討用説明書

■レシプロコンプレッサ

タンクマウント形（ＴＬＰ）

TLP15E-10

TLP22E-10　　TLP22E-14

TLP37E-10　　TLP37E-14

TLP55E-10　　TLP55E-14

TLP75E-10　　TLP75E-14

TLP110E-10　TLP110E-14

はじめに

保証について

この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠警告	この指示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、又は物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示例

	△記号は「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに具体的な内容を表示します。 （左の例は感電注意）
	⃠この記号は「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の近くに、具体的な禁止内容を表示します。 （左の例は接触禁止）
	●この記号は「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。 （左の例は必ずアース線を接続せよ）

■補足表示

お願い	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。

■警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害および損傷については、当社は一切責任を負えませんのでご了承願います。

■法律による届出（騒音規制法および振動規制法）

７．５ｋＷ以上の空気圧縮機を設置の場合は、届出の対象となります。運用は都道府県条例により規制内容が異なります。詳細は所轄の区・市・町・村役場の公害担当課へお問い合わせください。

届出場所	所轄の区・市・町・村役場の公害担当課
届出期日	設置工事開始または変更の３０日前
届出内容	新設届　導入数の変更届

※設置の際、工場又は事業所の敷地境界線上で騒音振動が、地域で定められた規制値以下を守らなければなりません。

■この商品の保証について

巻末に保証と修理サービスについての説明があります。内容をよくお読みください。

■アネスト岩田は、ISO9001 認証取得企業です。

目　次

はじめに　■重要なお知らせ
目次
安全上のご注意　・・・・・01～04
■警告　・・・・・01～02
■注意　・・・・・03
■警告表示貼付け位置　・・・・・04
現品確認　・・・・・05
■形式の見方　・・・・・05
■付属品一覧　・・・・・05
各部の名称　・・・・・06～07
設置場所　・・・・・08～09
■警告　・・・・・08
■お願い　・・・・・09
配管　・・・・・10
配線　・・・・・11
試運転　・・・・・12～13
■準備　・・・・・12
■試運転　・・・・・13
■運転制御確認　・・・・・13
・・・・・14～15
・・・・・14
・・・・・15
・・・・・16～19
・・・・・16～17
・・・・・18
・・・・・18
・・・・・19
・・・・・19

こちらは取扱説明書に記載されております。

目　次

こちらは取扱説明書に記載されております。 ・・・・20～21

・・・・22

法律による届出 ・・・・23

■労働安全衛生法に基づくもの ・・・・23

■騒音規制および振動規制法に基づくもの ・・・・23

立体分解図 ・・・・24～33

■圧縮機 ・・・・24～28

TLP15E－10 ・・・・24

TLP22E－10　TLP37E－10 ・・・・25

TLP22E－14　TLP37E－14 ・・・・26

TLP55E－10　TLP55E－14 ・・・・27

TLP75E－10　TLP75E－14 ・・・・28

TLP110E－10　TLP110E－14 ・・・・28

■圧縮機本体 ・・・・29～33

LS20C ・・・・29

LS30C ・・・・30

LT50C ・・・・31

LT75E ・・・・32

LT110E ・・・・33

LT150E ・・・・33

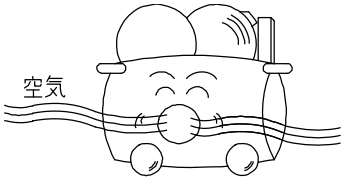
・・・・34

安全上のご注意

ここに示した内容は、安全に関する重大な内容ですので、
ご使用前に、よくお読みの上正しくお使いください。

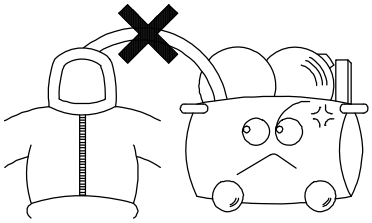
⚠ 警告

空気以外の気体の圧縮には絶対に使用しないこと。
※爆発・火災・破損の原因となります。



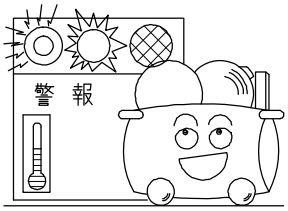
空気以外のガスの圧縮禁止

圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器や人命に関わる機器には使用しないこと。
※人体に重大な損害を与える危険があります。



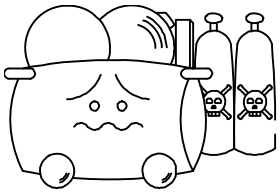
使用禁止

重要設備等に使用される場合は、圧縮機の予期せぬ停止に備え、必ず予備機やそれに替わる装置および安全装置を装備してください。
※重大な損害を与える危険があります。



予備機の準備

爆発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）可燃物のない場所に設置すること。
※爆発・発火の原因となります。

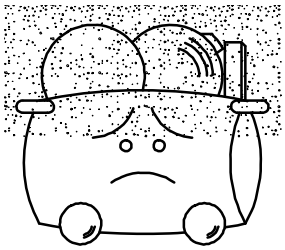


安全な場所に設置する

屋外には設置しないこと。
※本製品は耐水構造となっていません。
電気系統に雨水がかかると漏電や火災事故を起こすおそれがあります。

屋外設置禁止

塵埃（鉄粉、木屑、砂塵、粉塵など）の少ない場所で使用すること。
※部品の摩耗・寿命低下や故障の原因となります。

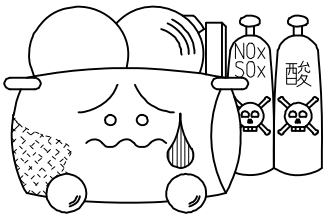


塵埃のない場所で使用

安全上のご注意

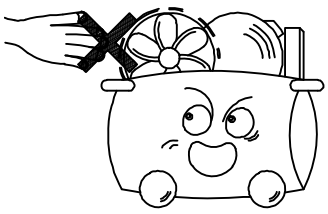
⚠警告

腐食性ガス（アンモニア・酸・塩素ガス・塩分・亜硫酸ガスなど）のない場所に設置してください。
※圧縮機本体・セット部品・空気タンクの発錆・腐食・寿命低下・破損・破裂の原因となります。



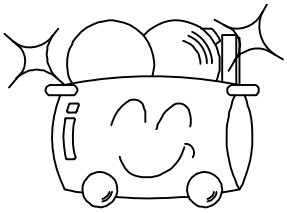
腐食ガスのない場所

元電源が入った状態で回転部（プーリー・ベルト）に手を触れないこと。
※手が巻込まれて大怪我をするおそれがあります。



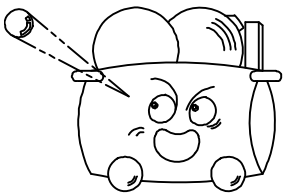
接触禁止

定期的に保守点検を行うこと。
（16～19ページ参照）
※火災や破損事故の原因となります。



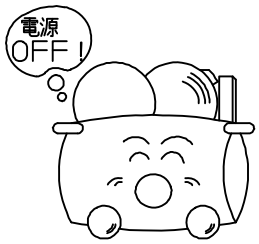
保守点検実施

点検・整備を行う場合には空気タンクの圧力を必ず放出し圧力がないことを確認してから実施してください。
※部品が圧力で飛び怪我をすることがあります。



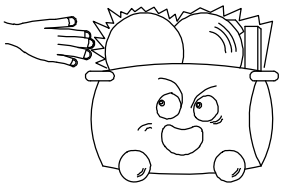
圧力確認実施

電装箱を開ける場合や配線作業・点検のときは、必ず元電源を切ること。
（電装箱の先の電源を遮断する）
※感電の危険があります。



電源の遮断

運転中や運転直後は圧縮機各部に直接手を触れないこと。
※火傷するおそれがあります。

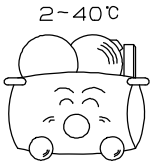


接触禁止

安全上のご注意

⚠注意

規定温度で使用する

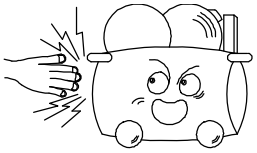


周囲温度が2～40℃（運転中）の場所で使用のこと。
※0℃以下ではドレン凍結により故障の原因となります。
　40℃以上では、寿命低下や破損事故の原因となります。

設置を安定化する

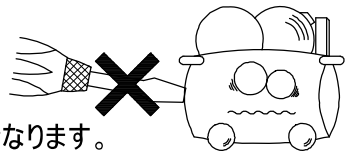
水平（傾斜3°　以内）な場所に設置すること。
※潤滑不良で焼き付きの原因となったり、不安定で車輪が浮いていると、
　異常振動や異音が発生する原因となります。

アース工事を実施する



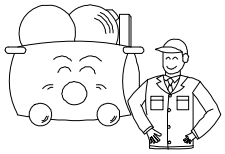
　アースの配線を必ず行うこと。
※　感電事故や火災の原因となります。

改造を禁止する



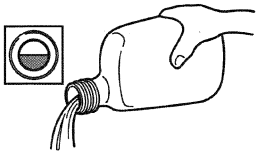
製品の改造はしないこと。
※故障事故や寿命低下の原因となります。改造製品は保証の対象外となります。

修理を依頼する



　修理は専門の業者に依頼すること。
※修理に不備があると破損事故や寿命低下の原因となります。

油量を確認する



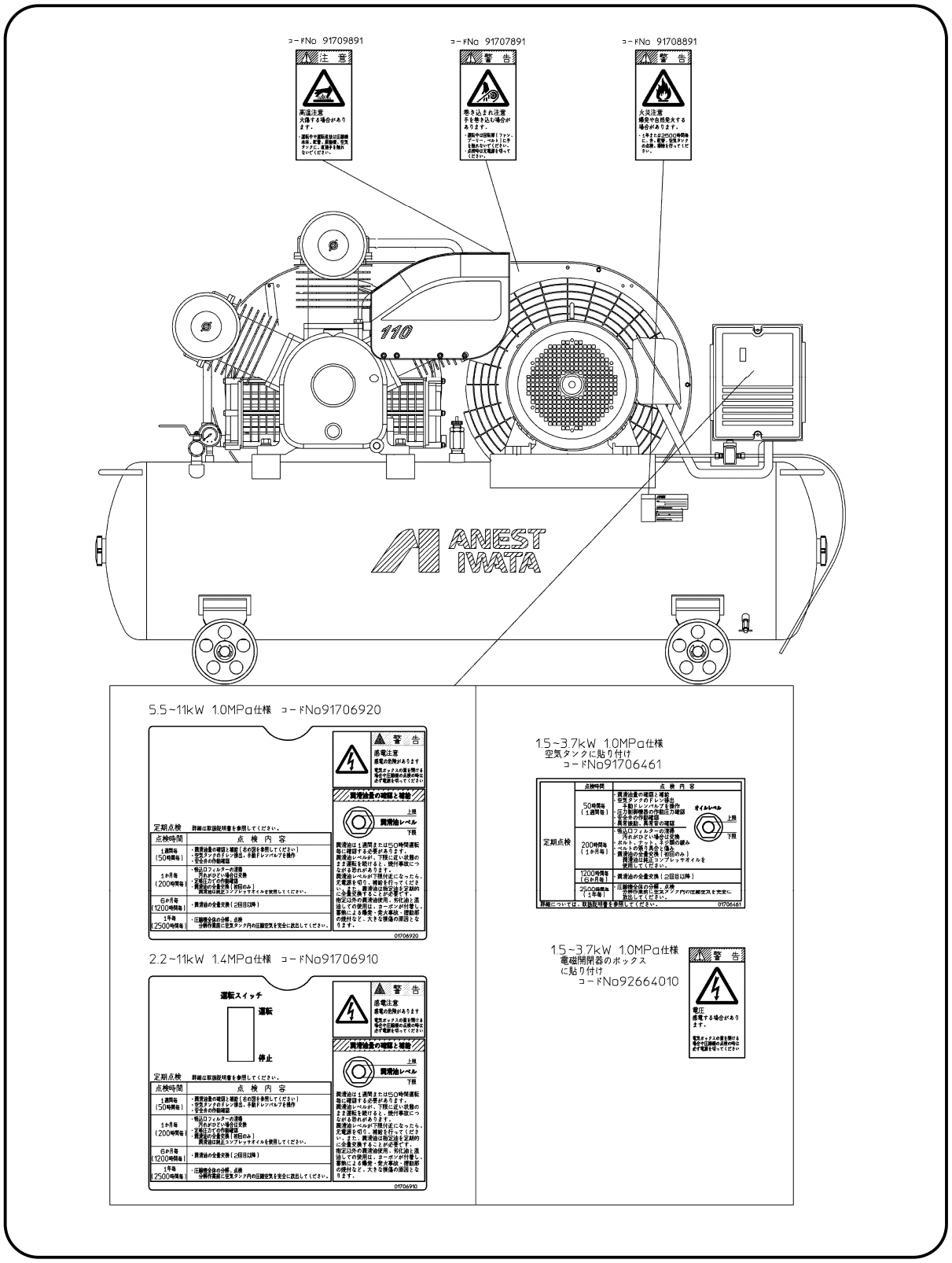
　運転前また運転後毎日潤滑油量を確認すること。
　不足の場合は補給すること。
※潤滑不良で焼き付きによる破損事故の原因となります。

指定潤滑油・純正部品を使用する。

　潤滑油および交換部品は指定の品物を使用すること。
※指定以外の潤滑油を使用すると異常なカーボンの発生など
　により爆発・発火のおそれがあります。

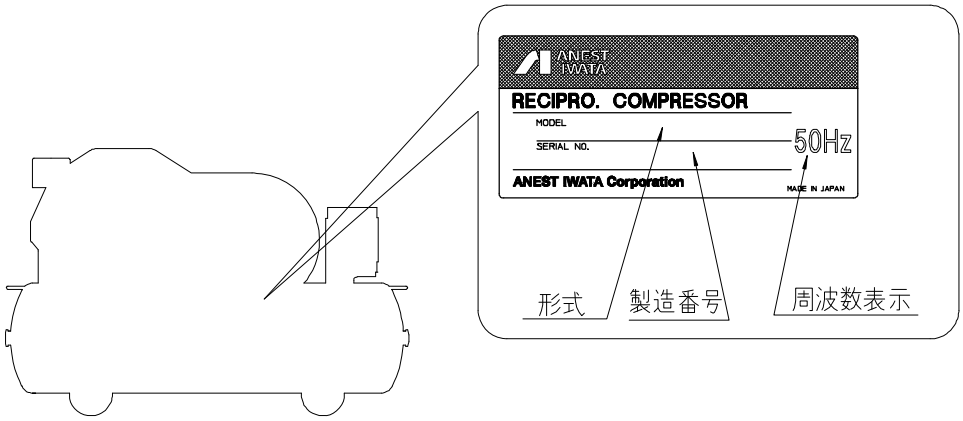
警告表示貼り付け位置

警告表示は常に汚れや破損の無いように保ち、紛失や破損した場合は新しい銘板を貼りなおしてください。銘板は、お買い上げになった販売店または当社支店・営業所にお申し付けください。下図は代表形式を図示しております。形式により外観形状と貼り付け位置は異なります。



現品確認

形式・周波数がご注文どおりか、現品を確認してください。



輸送中に変形や破損した箇所がないか確認してください。

■形式の見方

T L P 110E −10

- T：タンクマウント形
- L：潤滑方式（L＝給油式）
- P：制御方式（P＝圧力開閉器制御）
- 110E：出力を表示。数値の後のEはシリーズ記号。
- −10：最高使用圧力 10=1.0 14=1.4 MPa

表示	１５	２２	３７
出力ｋＷ	１．５	２．２	３．７

表示	５５	７５	１１０
出力ｋＷ	５．５	７．５	１１

■付属品一覧

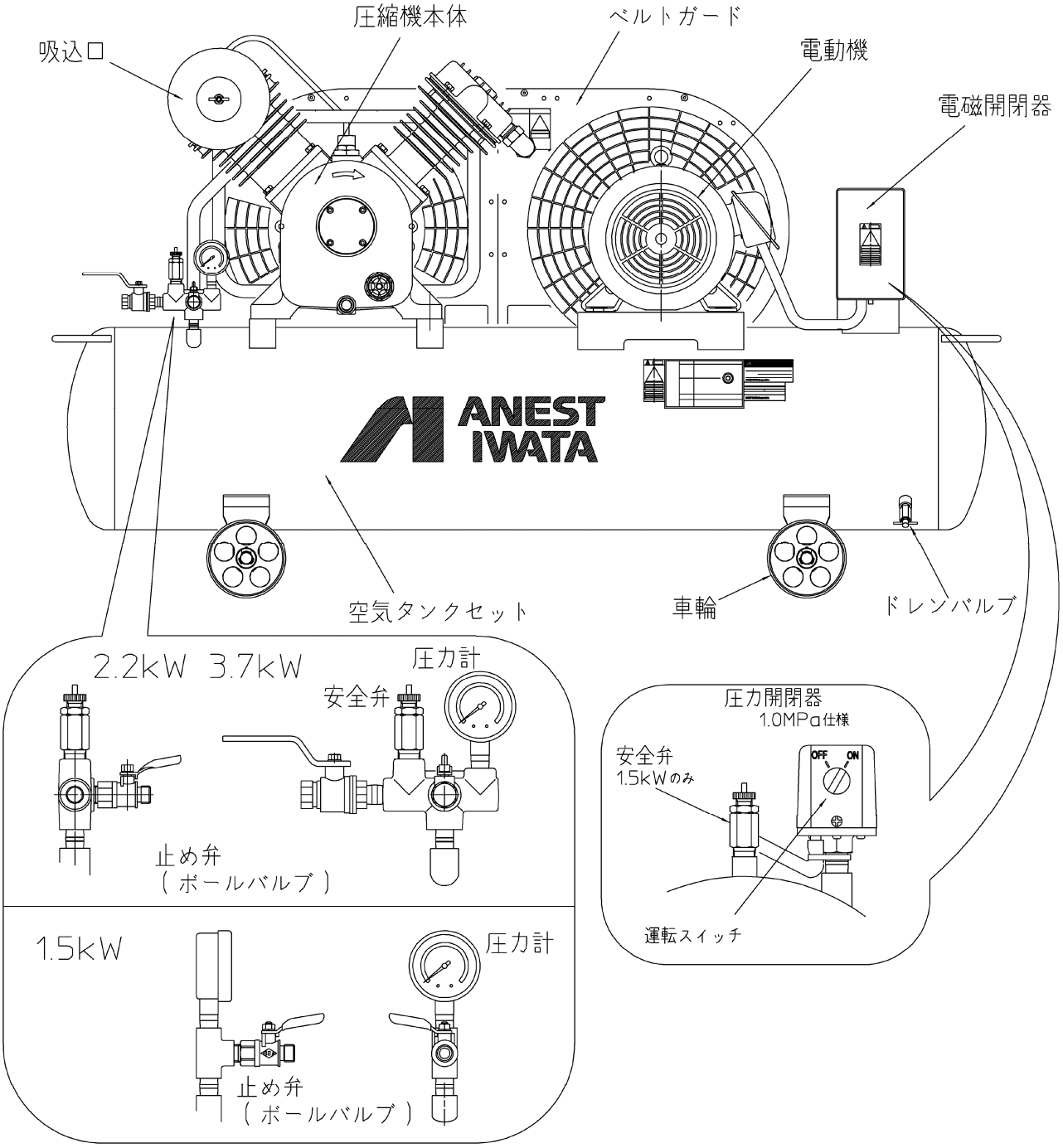
付属品がすべてあるか、確認してください。

- ◎ 取扱説明書　1部
- ◎ 第2種圧力容器明細書　1部
- ◎ 電動機取扱説明書　1部
  （電動機なしの場合は付属しません）
- ◎ タンク寸法表　1部

各部の名称

下図は代表形式（※）を示しておりますので、形式により構成部品や外観形状が異なります。

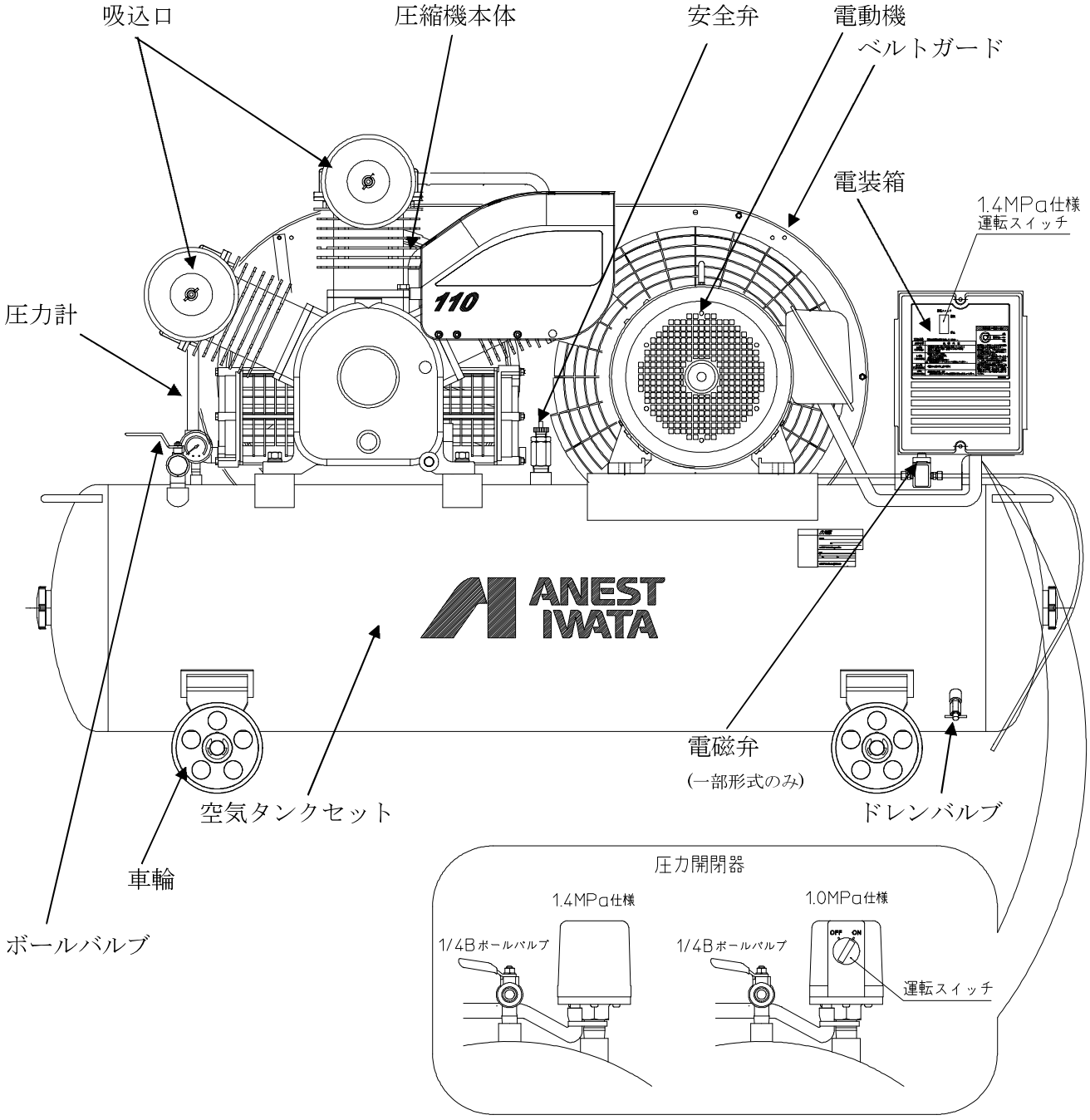
形式　　ＴＬＰ１５Ｅ－１０
**　　ＴＬＰ２２Ｅ－１０**
**　　ＴＬＰ３７Ｅ－１０（※）**



各部の名称

下図は代表形式（※）を示しておりますので、形式により構成部品や外観形状が異なります。

形式　ＴＬＰ２２Ｅ－１４　ＴＬＰ３７Ｅ－１４
ＴＬＰ５５Ｅ－１０　ＴＬＰ５５Ｅ－１４
ＴＬＰ７５Ｅ－１０　ＴＬＰ７５Ｅ－１４
ＴＬＰ１１０Ｅ－１０　ＴＬＰ１１０Ｅ－１４(※)



設置場所

設置には下記の事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

室内で湿気のない場所に設置してください。
※雨水がかかったり、湿気の多い場所では、漏電や火災事故を
　起こす危険があります。

水気禁止

⚠ 警　告

近くに発火性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンなど）
可燃物のない場所に設置してください。
※不適当な場所では、爆発・発火事故の原因となります。

安全な場所に設置する

⚠ 警　告

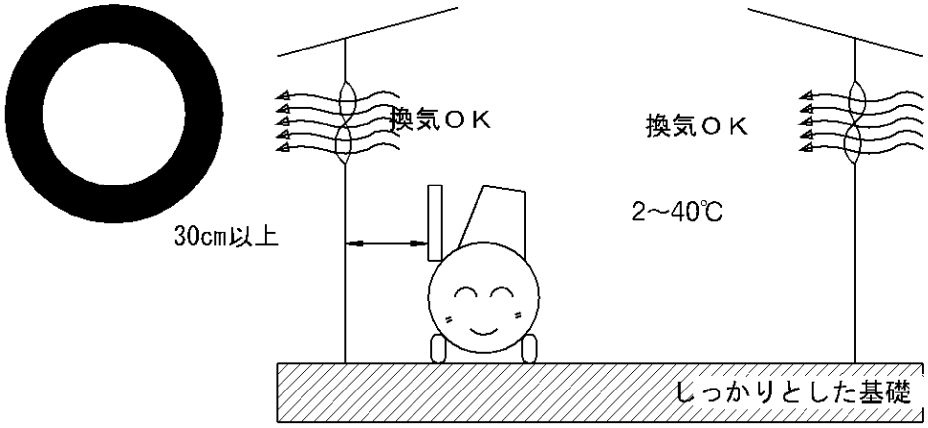
周囲温度が 2℃から４０℃で腐食ガス・直射日光のあたらない場所でご使用ください。
※２℃以下の使用は、ドレンの凍結により圧縮機各部に作動不良が発生する原因となります。
　２℃以下で使用される時は、当社支店・営業所、アネスト岩田サービス㈱に
　問い合わせください。
※４０℃以上の使用は、オイル消費量の増加やカーボン発生の原因となり、
　寿命低下や破損事故の原因となります。
※腐食性ガスの雰囲気での使用は、圧縮機本体・セット部品・空気タンクの
　発錆・腐食・寿命低下・破損・破裂の原因となります。換気に十分ご注意ください。

規定の場所で使用する

⚠ 警　告

ごみやほこりの少ない場所を選んでください。
※鉄粉・石紛・研磨紛・木屑などを吸い込むと、吸込みフィルタの目詰まりによる
　性能低下や圧縮機内部の異常摩耗による破損事故の原因となります。
※堆積した可燃物の発火のおそれがあります。

粉塵のない場所に設置する



設置場所

お願い

ベルトガード側は壁と３０cm 以上離して設置してください。
※壁面に近い設置は、圧縮機の冷却能力を低下させ寿命低下の原因となります。

密着設置禁止

お願い

水平(3°以内)で基礎がしっかりしている場所を選び、車輪は４個とも床面に付くように設置してください。
※傾きが大きいと本体内部のオイルかき上げに影響し、潤滑不良か焼き付きのおそれがあります。設置が不安定で車輪が浮いていると、異常振動・異音や圧縮機の破損が発生する原因となります。車輪の下にゴムや緩衝布を敷くと安定し、防振効果にもなります。

設置を安定化する

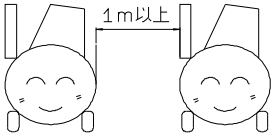
お願い

保守・点検が容易にできる場所に設置してください。
※圧縮機の周囲に作業員が入って、十分に点検できるスペースを確保してください。

スペースを確保する

お願い

２～３台を並列に並べて運転する場合は、間隔を１m以上あけて設置してください。
※圧縮機同士が温度影響を受け、圧縮機の寿命低下の原因となります。

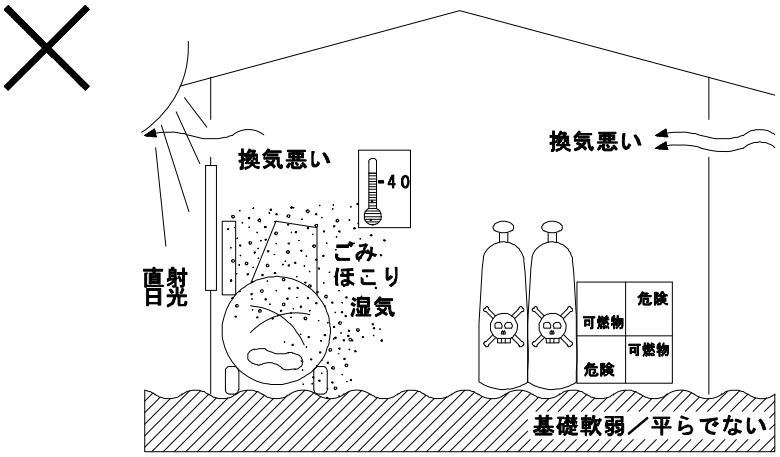


スペースを確保する

※次の場合は、必ず最寄の当社支店・営業所にご相談ください。

お願い

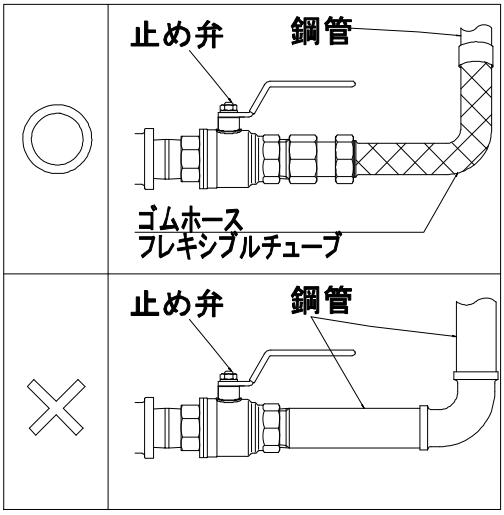
- 屋外で使用したい場合。
- 圧力等を変更したい場合。
- 密閉された部屋で使用する場合
- 箱に入れて使用したい場合。
- その他、特殊な用途、場所で使用する場合。



配管

鋼管で配管する場合は、圧縮機の止め弁（ボールバルブ）と鋼管の間をゴムホースやフレキシブルチューブで中継してください。

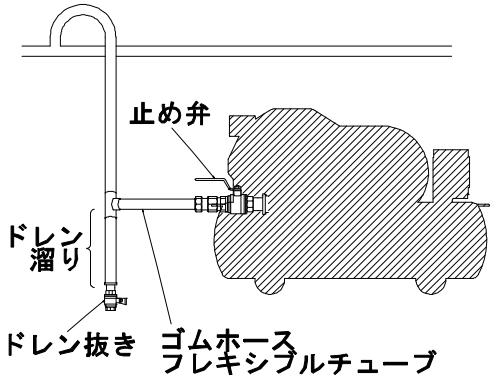
●鋼管に直接接続すると、振動により配管に亀裂を生じたり、圧縮機の振動に悪影響を与えることがあります。



ゴムホースは、JIS K6349 相当品で材質がオイルとオゾンに対して耐久性があるホース または当社のエアーホース(AHR)をご使用ください。
AHR-1206 R3/4 1.2m
AHR-1806 R3/4 1.8m

●ホースの両端に使うネジ継手はホースメーカー指定のものをご使用ください。

立ち上がり配管がある場合は、必ず下部にドレン溜りとドレン抜きを設けてください。



■2台以上の並列設置

圧縮機を2台以上同一配管上で運転する場合は、以下のような運転方法に変えることができます。

●全ての圧縮機を均等に運転する。
●主運転と予備運転に分けて運転する。
※上記の運転方法につきましては、改造を伴います。
詳しくは、最寄りの当店支店・営業所までお問い合わせください。
※特別の配慮をせずに 2 台以上を同一配管上で運転すると、圧縮機制御装置の微妙な圧力差により 1 台が常に運転し、運転負荷が集中してしまう場合があります。

配線

⚠ 警　告

配線作業は、必ず元電源を切って行ってください。
※感電の危険が有ります。
電気配線工事は、電気工事士又は、電気工事店に依頼してください。
電源は必ず漏電遮断器を通して、１台ごとに単独で接続してください。
※感電や火災の原因となります。

電源の遮断

有資格者に依頼する

配線容量は右表の通りです。

●配線が長すぎたり、規定より細い場合には、電圧が低下し電動機が起動しなかったり、焼損の原因となります。
●右表の線の太さは、長さが20m以下を基準としたものです。
●元電源と圧縮機の間には電源保護用の漏電遮断機を通して配線してください。モータを保護する場合には更にモーター保護用の遮断機を。使用してください。

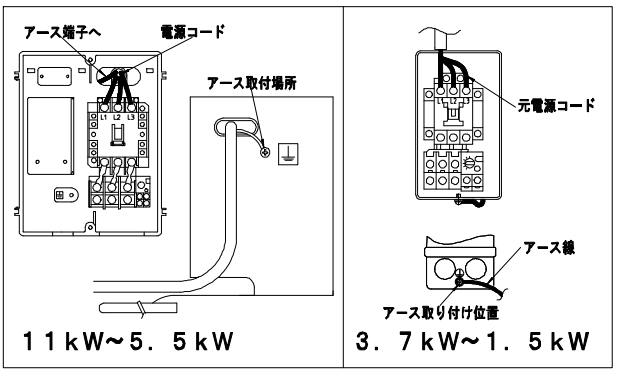
出力(kW)	電源	配線容量				接続端子ねじ呼び径
		配線の最小太さ	アース線の最小太さ	漏電遮断器定格電流	モータ保護用漏電遮断器定格電流	
1.5	3相200V	1.6mm (2.0mm^2)	1.6mm (2.0mm^2)	30A	10A	M4
2.2	3相200V	1.6mm (2.0mm^2)	1.6mm (2.0mm^2)	30A	10A	M4
3.7	3相200V	2.0mm (3.5mm^2)	2.0mm (3.5mm^2)	50A	16A	M4
5.5	3相200V	2.6mm (5.6mm^2)	2.6mm (5.6mm^2)	75A	25A	M5
7.5	3相200V	3.2mm (8.0mm^2)	2.6mm (5.6mm^2)	100A	32A	M5
11	3相200V	(14mm^2)	(14mm^2)	125A	45A	M6

注.漏電遮断器定格は、内線規定 3705 節による

電源コードは、電磁開閉器の端子（L1・L2・L3）の端子にゆるみや外れがないようにしっかりと接続してください。
アース線の接続もしっかりしてください。

●接続が不十分ですと接続部が加熱したり、電動機の焼損事故の原因となります。
●端子ねじサイズ

出力ｋＷ	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11
電磁開閉器端子	M4			M5		M6
アース端子	M5					



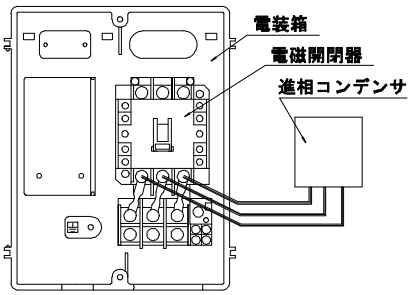
●アースの接続位置は、図を参照ください。
●配線時に、L1・L2に接続されているコード（細いコード）を外さないよう注意してください。外れたままにすると始動しません。

⚠ 警　告

漏電防止のため、アースは必ず取りつけてください。
アース取付けネジは、上記の位置に用意してあります。
※感電や火災の原因となります。

アースの接続

進相コンデンサを使用する場合は図のように電磁開閉器の二次側（電動機側）に接続してください。また電磁開閉器は1ランク大きいものに変更してください。

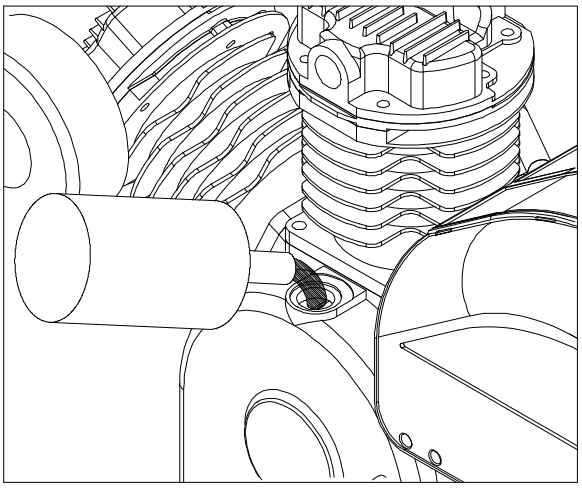


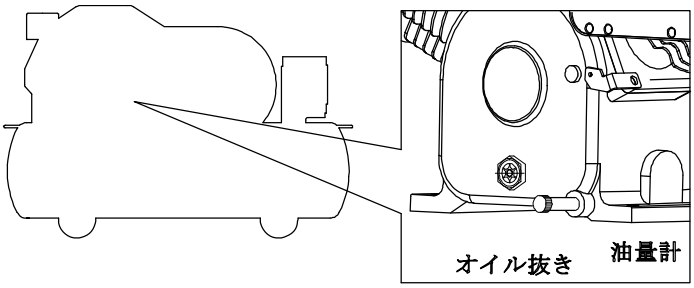
●電磁開閉器の電源側には接続しないでください。電源側に接続すると電磁開閉器の接点やコイルの焼損の原因となります。

試運転

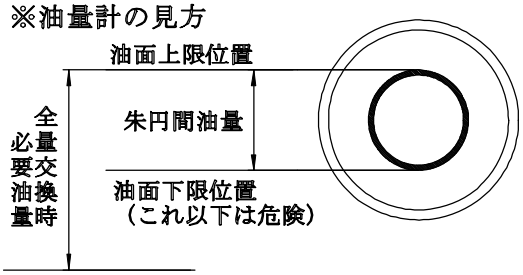
■準備

●潤滑油を油量計で確認し不足している場合は
指定の潤滑油を補給してください。
（0.5L=96995610）
（1.0L=96995615）
（20L=96995620）
注油口は、手で回すことができます。
固い場合は、工具を使用してください。
潤滑油はこぼさないように注意願います。
こぼした場合には、布などできれいにふき取り、ふき取った布などは、公害問題にならないように処理してください。
別売のジョーゴ（91380430）をお使いになると給油作業が容易になります。
給油後、キャップは手でしっかりと閉めてください。





※油量計の見方



出力 kW	全量交換時の必要油量(L)	朱円間油量(L)	補給間隔	形式
1.5	0.24	0.11	2.5 か月	TLP15E-10
2.2	0.50	0.20	3 か月	TLP22E-10
2.2	0.77	0.27	4 か月	TLP22E-14
3.7	0.77	0.27	2.5 か月	TLP37E-10 TLP37E-14
5.5	1.7	0.45	2.5 か月	TLP55E-10 TLP55E-14
7.5	2.05	0.55	2.5 か月	TLP75E-10 TLP75E-14
11	2.05	0.55	1.5 か月	TLP110E-10 TLP110E-14

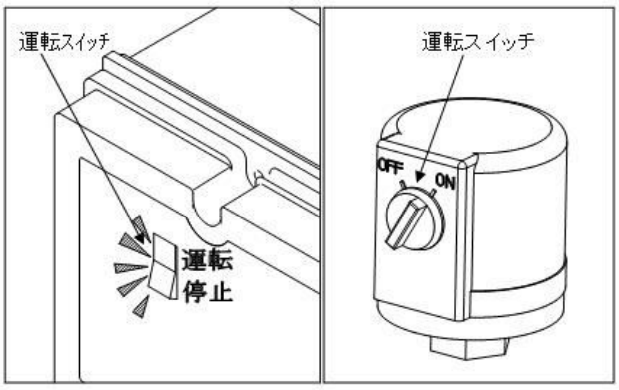
注意
補給間隔は、周囲温度が 30℃以下で一日８時間連続運転をして一か月 20 日間稼働した場合を条件とした場合の目安です。一日の稼働時間が 16 時間の場合には表の半分となり、例えば 3.7kW では約 1 か月　11kW では約半月で補給することになります。

試運転

■試運転

数秒間運転させて回転方向を確認してください。

●手元運転スイッチは、電装箱にある形式と圧力開閉器に一体で付いている形式が有ります。
電装箱にある形式では、元電源が入っている時は、運転スイッチ（ランプ内臓）が点灯します。
●回転方向は図のとおりです。
●形式により回転方向銘板の貼付け位置が異なります。

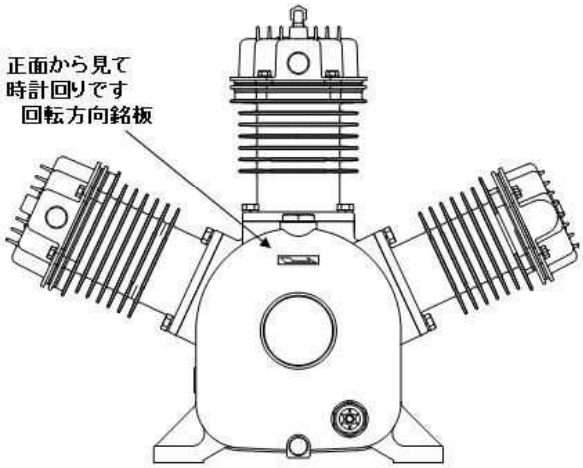


1.4MP 仕様　　1.0MP 仕様

⚠ 警　告

正しい回転方向で運転してください。
※回転方向が逆ですと圧縮機の冷却が損なわれ加熱により圧縮機の寿命低下の原因となります。

回転方向確認

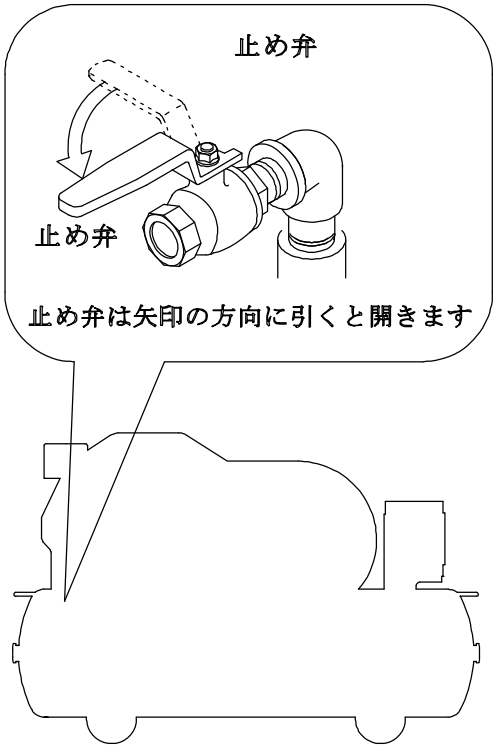


●回転方向が反対の時は、電磁開閉器に接続した電源コード3本のうち2本を入れ替えてください。

■運転制御確認

止め弁を全開にし運転スイッチを投入して運転をします。10分程度運転して異常がなければ、止め弁を閉じて空気タンクの圧力が上昇することを確認してください。

●圧力計の針が作動圧力（19 ページ参照）まで達した時、制御部品の圧力開閉器が作動して運転を停止します。
●　停止後、7.5kW1.4MPa と 11kW の製品は、取り付けてある電磁弁から空気と水分が排出されます。
吐出される空気は、2段圧縮機本体の低圧側から高圧側に供給される中間圧で、給油式圧縮機では、吐出し空気にオイルが含まれています。処理する際はご注意ください。



止め弁を開いて、空気タンクの圧力を徐々に下げてください。

●圧力計の針が復帰圧力まで降下した時、制御部品の圧力開閉器が作動し、運転が再開されます。
●作動圧力が19ページの『機能点検』の設定圧力より外れている場合は、圧力開閉器に狂いが出てきています。19ページの『制御機器の設定圧力の調整』に従って調整してください。

第二種圧力容器点検記録

注）記録用紙が満杯になった場合は、同内容の記録票を作成し引き続き記録してください。

点検年月日 西暦　　年　　月　　日		点検者氏名					事業者印
点検項目及び点検事項		状態		異常		状態と措置	
		良	否	有	無		
本体の損傷	1．胴・鏡板						
	2．安全弁						
	3．圧力計						
ふ　た							
管及び弁の損傷							

点検年月日 西暦　　年　　月　　日		点検者氏名					事業者印
点検項目及び点検事項		状態		異常		状態と措置	
		良	否	有	無		
本体の損傷	1．胴・鏡板						
	2．安全弁						
	3．圧力計						
ふ　た							
管及び弁の損傷							

点検年月日 西暦　　年　　月　　日		点検者氏名					事業者印
点検項目及び点検事項		状態		異常		状態と措置	
		良	否	有	無		
本体の損傷	1．胴・鏡板						
	2．安全弁						
	3．圧力計						
ふ　た							
管及び弁の損傷							

点検年月日 西暦　　年　　月　　日		点検者氏名					事業者印
点検項目及び点検事項		状態		異常		状態と措置	
		良	否	有	無		
本体の損傷	1．胴・鏡板						
	2．安全弁						
	3．圧力計						
ふ　た							
管及び弁の損傷							

法律による届出

圧縮機の設置・使用に際しては、安全および公害対策上、法律の適用をうけます。
このため各種の届出、規制基準の遵守義務が生じます。

■労働安全衛生法に基づくもの

● 圧力容器安全規制
定期自主検査
・ 使用者は毎年１回以上次の事項について定期自主検査を行い、その結果を記録し３年間保管しておくこと。
① 空気タンク本体の損傷の有無。
② ふたの締め付けボルトの摩耗の有無。・・・ふたの無い構造もあります。
③ 管および弁(ボールバルブ、安全弁)の損傷の有無。

空気タンクの第二種圧力容器明細書は再発行できません。大切に保管してください。

■騒音規制および振動規制法に基づくもの

● 騒音規制法および振動規制法による設置届
(1) 圧縮機で駆動定格出力７．５ｋＷ以上のものは、条例によって定められた指定地域にあっては特定施設として届出が必要です。
なお各都道府県により基準が異なりますので工場、事業所の所在地の区、市役所および町村役場の公害担当窓口で確認してください

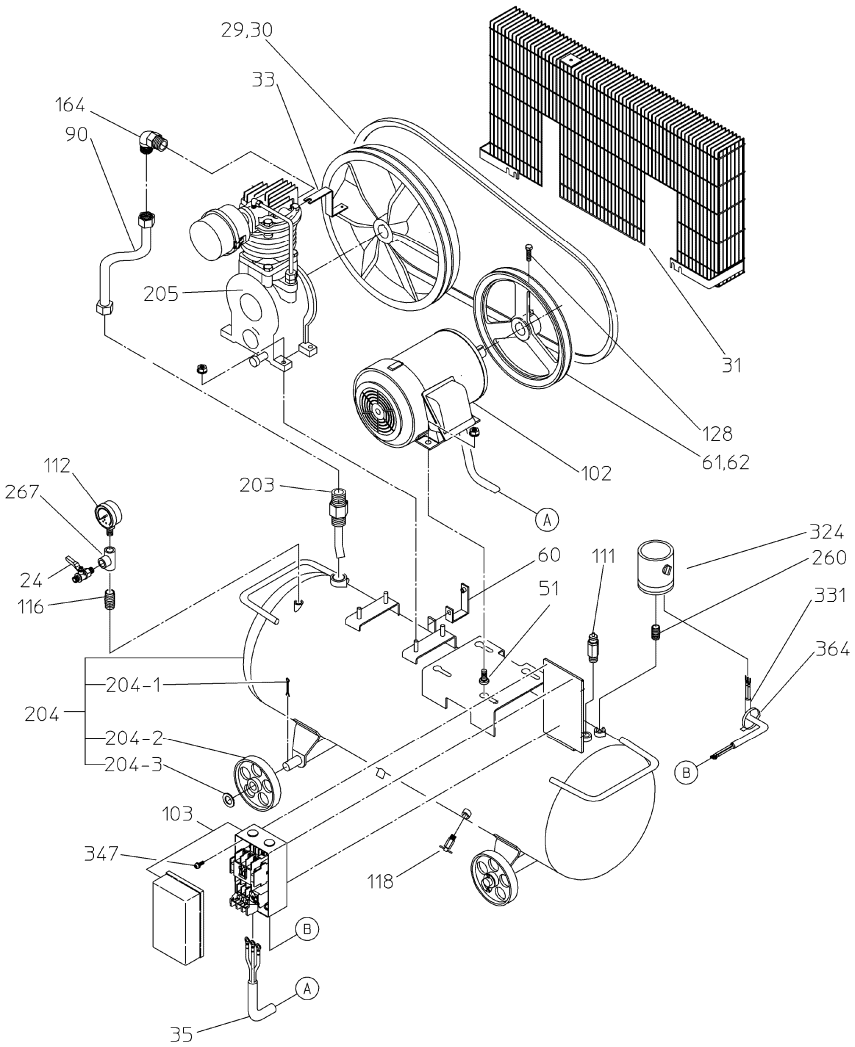
届出	・新設届。（新しく設置しようとする場合） ・数などの変更届。（コンプレッサの台数および種類を変更する場合） ・騒音防止方法変更届。（発生騒音の防止方法を変更する場合）
届出期日	・設置（変更）の工事開始の３０日前に届出る。
届出場所	・工事、事業場の所在する区、市役所および町村役場の公害担当窓口。

立体分解図

圧縮機

仕様

形　式	ＴＬＰ１５Ｅ－１０
圧縮機本体形式	ＬＳ２０Ｃ
圧縮機運転制御方式	圧力開閉器制御
出力　kW	１．５
回転速度　min^{-1}	１２４０
吐出し空気量　L/min	１７０
吐出し圧力　MPa	１．０
空気タンク容量　L	６５
空気出口管径	１／４（ボールバルブ）おねじ
外形寸法　mm（幅×奥行×高さ）	９４５×３８５×８３０
質量　kg	７５
騒音値　dB(A)正面　1.5m	６９



部品表

番号	部　品　名	個数
24	ボールバルブ	1
※29	Ｖベルト（50Hz）	1
※30	Ｖベルト（60Hz）	1
31	ベルトガード（１）	1
33	ガード吊りステー	1
35	電動機コード	1
51	ボルト	4
60	ガードステー	1
61	電動機プーリ（50Hz）	1
62	電動機プーリ（60Hz）	1
90	接続管セット	1
102	電動機	1
※103	電磁開閉器	1
111	安全弁	1
※112	圧力計	1
116	バレルニップル	1
118	ドレンバルブ	1
128	高力六角ボルト	1
164	特殊エルボ	1
186	タッピンねじ	8
204	空気タンクセット	1
204-1	ピン	4
204-2	車輪	4
204-3	座金	4
205	圧縮機本体	1
260	バレルニップル	1
267	チー	1
※324	圧力開閉器	1
331	圧力開閉器コード1	1
364	結束バンド	1

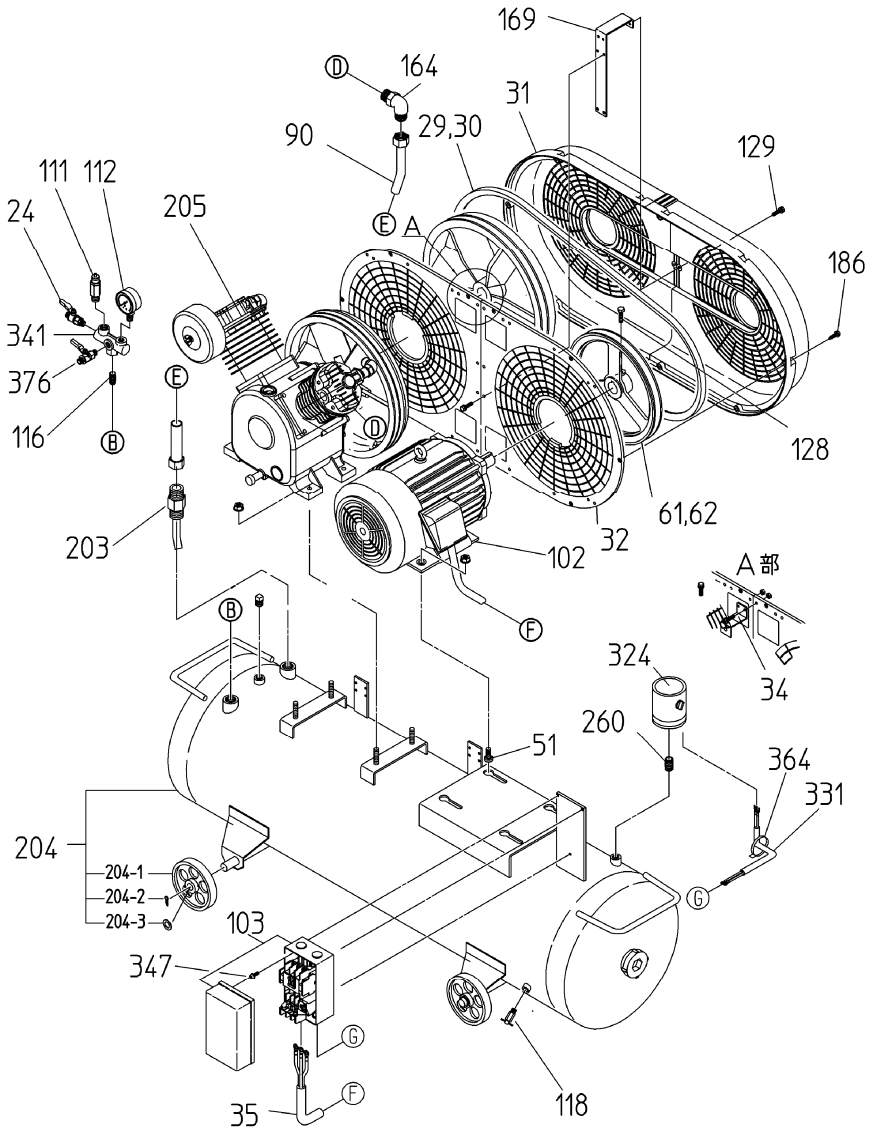
※の部品は消耗部品です

立体分解図

圧縮機

仕様

形　式	ＴＬＰ２２Ｅ－１０	ＴＬＰ３７Ｅ－１０
圧縮機本体形式	ＬＳ３０Ｃ	ＬＴ５０Ｃ
圧縮機運転制御方式	圧力開閉器制御	
出力　kW	２．２	３．７
回転速度　min^{-1}	１０２５	１１５０
吐出し空気量　L/min	２５５	４００
吐出し圧力　MPa	１．０	
空気タンク容量　L	７５	９５
空気出口管径	１／４と３／８（ボールバルブ）×各１個	
外形寸法　mm（幅×奥行×高さ）	１１５０×４２６×７７０	１４０９×４２６×８５７
質量　kg	１００	１３５
騒音値　dB(A)正面　1.5m	６９	７２



2.2kW の本体形状は上図とは異っています。

部品表

番号	部　品　名	個数
24	ボールバルブ	1
※29	Ｖベルト（50Hz）	1
※30	Ｖベルト（60Hz）	1
31	ベルトガード（１）	1
32	ベルトガード（２）	1
34	ガード吊りステー	1
35	電動機コード	1
51	ボルト	4
57	ガードステー	1
61	電動機プーリ（50Hz）	1
62	電動機プーリ（60Hz）	1
90	接続管セット	1
102	電動機	1
※103	電磁開閉器	1
111	安全弁	1
※112	圧力計	1
116	バレルニップル	1
118	ドレンバルブ	1
128	高力六角ボルト	1
164	特殊エルボ	1
186	タッピンねじ	8
204	空気タンクセット	1
204-1	車輪	4
204-2	ピン	4
204-3	座金	4
205	圧縮機本体	1
260	バレルニップル	1
※324	圧力開閉器	1
331	圧力開閉器コード１	2
341	分岐ジョイント	1
364	結束バンド	1
376	ボールバルブ	1

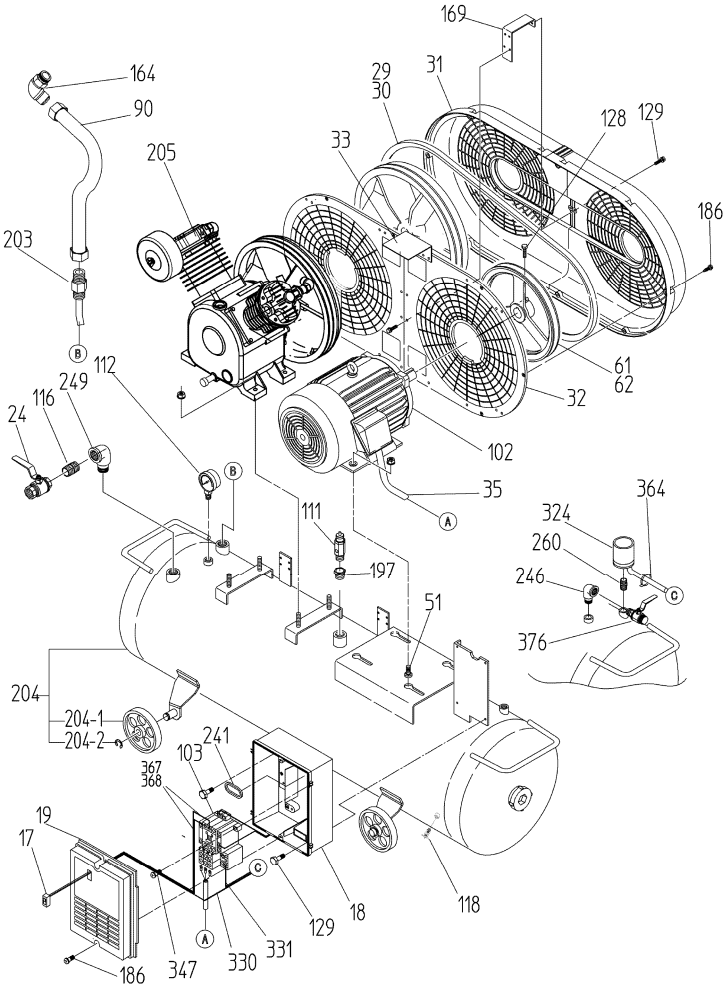
※の部品は消耗部品です

立体分解図

圧縮機

仕様

形　式	ＴＬＰ２２Ｅ－１４	ＴＬＰ３７Ｅ－１４
圧縮機本体形式	ＬＴ５０Ｃ	ＬＴ５０Ｃ
圧縮機運転制御方式	圧力開閉器制御	
出力　kW	２．２	３．７
回転速度　min^{-1}	７００	１１５０
吐出し空気量　L/min	２３５	４００
吐出し圧力　MPa	１．４	
空気タンク容量　L	１５５	１８０
空気出口管径	１／４と３／４（ボールバルブ）×各１個	
外形寸法　mm （幅×奥行×高さ）	１３３４×５０６×９３１	１５３４×５０６×９３１
質量　kg	１４５	１６５
騒音値　dB(A) 正面　1.5m	６７	７１



部品表

番号	部　品　名	個数	番号	部　品　名	個数
※17	運転スイッチ	1	164	特殊エルボ	1
18	電装箱	1	169	ガード押えステー	1
19	電装箱蓋	1	186	タッピンねじ	12
24	ボールバルブ	1	197	ブッシュ	1
※29	Ｖベルト（50Hz）	1	204	空気タンクセット	1
※30	Ｖベルト（60Hz）	1	204-1	車輪	4
31	ベルトガード（１）	2	204-2	E形止め輪	4
32	ベルトガード（２）	2	205	圧縮機本体	1
33	ガード吊りステー	1	241	膜付グロメット	1
35	電動機コード	1	246	ストリートエルボ	1
51	ボルト	4	260	バレルニップル	1
57	ガードステー(1)	1	※324	圧力開閉器	1
60-1	本体カバー(1)	1	330	圧力開閉器コード1	1
60-2	本体カバー(2)	1	331	圧力開閉器コード2	1
61	電動機プーリ（50Hz）	1	203	2.2kW 特殊エルボセット	1
62	電動機プーリ（60Hz）	1	203	3.7kW ジョイントセット	1
90	接続管セット	1	347	タッピンネジ	2
102	電動機	1	364	結束バンド	1
※103	電磁開閉器	1	367	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 1	1
111	安全弁	1	368	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 2	1
※112	圧力計	1	376	ボールバルブ	1
116	バレルニップル	1	368	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 2	1
118	ドレンバルブ	1	376	ボールバルブ	1
128	高力六角ボルト	1			
129	アプセットボルト	9			

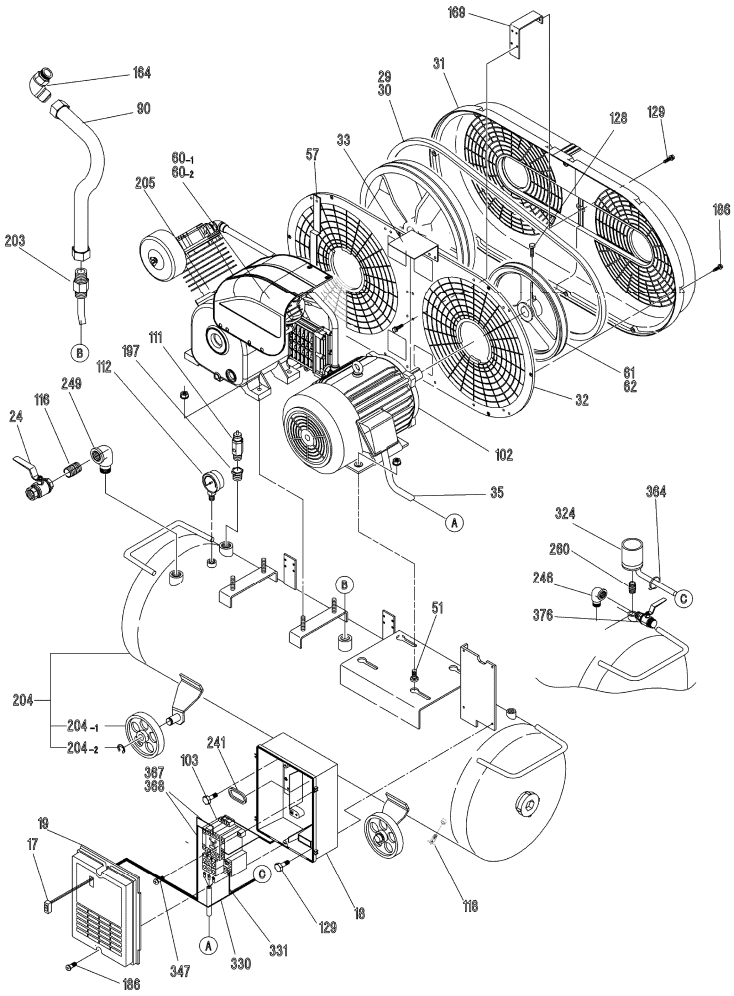
注1. ※の部品は消耗部品です。
注2. 一部部品において表示形状が異なる物があります。

立体分解図

圧縮機

仕様

形　式	ＴＬＰ５５Ｅ－１０	ＴＬＰ５５Ｅ－１４
圧縮機本体形式	ＬＴ７５Ｅ	
圧縮機運転制御方式	圧力開閉器制御	
出力　kW	５．５	
回転速度　min^{-1}	１１１０	１０１０
吐出し空気量　L/min	６３０	５９０
吐出し圧力　MPa	１．０	１．４
空気タンク容量　L	１５５	１８０
空気出口管径	１／４と３／４（ボールバルブ）×各１個	
外形寸法　mm （幅×奥行×高さ）	１３３４×５７１×１００２	１５３０×５７１×１００２
質量　kg	２０１	２１２
騒音値　dB(A) 正面　1.5m	７１	７２



部品表

番号	部　品　名	個数	番号	部　品　名	個数
※17	運転スイッチ	1	164	特殊エルボ	1
18	電装箱	1	169	ガード押えステー	1
19	電装箱蓋	1	186	タッピンねじ	12
24	ボールバルブ	1	197	ブッシュ	1
※29	Ｖベルト（50Hz）	1	203	ジョイントセット	1
※30	Ｖベルト（60Hz）	1	204	空気タンクセット	1
31	ベルトガード（１）	2	204-1	車輪	4
32	ベルトガード（２）	2	204-2	E 形止め輪	4
33	ガード吊りステー	1	205	圧縮機本体	1
35	電動機コード	1	241	膜付グロメット	1
51	ボルト	4	246	ストリートエルボ	1
57	ガードステー(1)	1	249	ストリートエルボ	1
60-1	本体カバー(1)	1	260	バレルニップル	1
60-2	本体カバー(2)	1	※324	圧力開閉器	1
61	電動機プーリ（50Hz）	1	330	圧力開閉器コード1	1
62	電動機プーリ（60Hz）	1	331	圧力開閉器コード2	1
90	接続管セット	1	347	タッピンネジ	2
102	電動機	1	364	結束バンド	1
※103	電磁開閉器	1	367	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 1	1
111	安全弁	1	368	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 2	1
※112	圧力計	1	376	ボールバルブ	1
116	バレルニップル	1			
118	ドレンバルブ	1			
128	高力六角ボルト	1			
129	アプセットボルト	9			

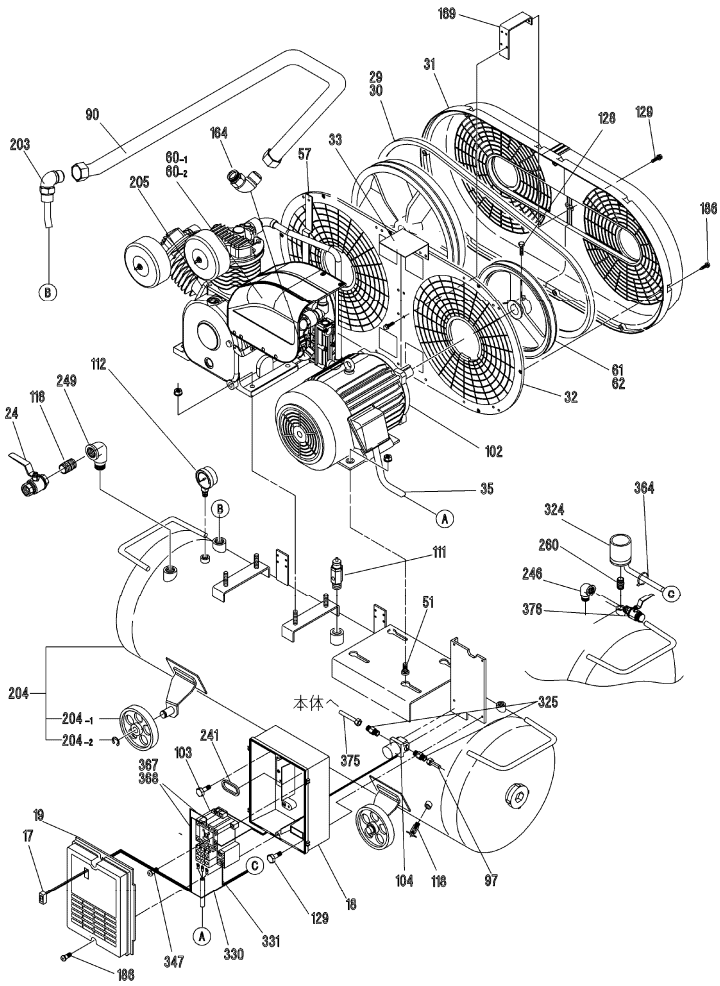
注1. ※の部品は消耗部品です。
注2. 17,197,104,367,368 は、7.5kW の 1MPa 仕様には使われていません。

立体分解図

圧縮機

仕様

形　式	ＴＬＰ７５Ｅ－１０	ＴＬＰ７５Ｅ－１４	ＴＬＰ１１０Ｅ－１０	ＴＬＰ１１０Ｅ－１４
圧縮機本体形式	ＬＴ１００Ｅ		ＬＴ１５０Ｅ	
圧縮機運転制御方式	圧力開閉器制御			
出力　kW	７．５		１１	
回転速度　min^{-1}	９６０	８６０	１１００	９７０
吐出し空気量　L/min	８５５	７５５	１２８５	１１２５
吐出し圧力　MPa	１．０	１．４	１．０	１．４
空気タンク容量　L	１８０		２００	
空気出口管径	１／４と３／４（ボールバルブ）×各１個			
外形寸法　mm （幅×奥行×高さ）	１５３５×５８５×１０８９		１６８４×６５０×１０９７	
質量　kg	２５２	２５１	３００	２９９
騒音値　dB(A) 正面　1.5m	７３	７４	７６	７７



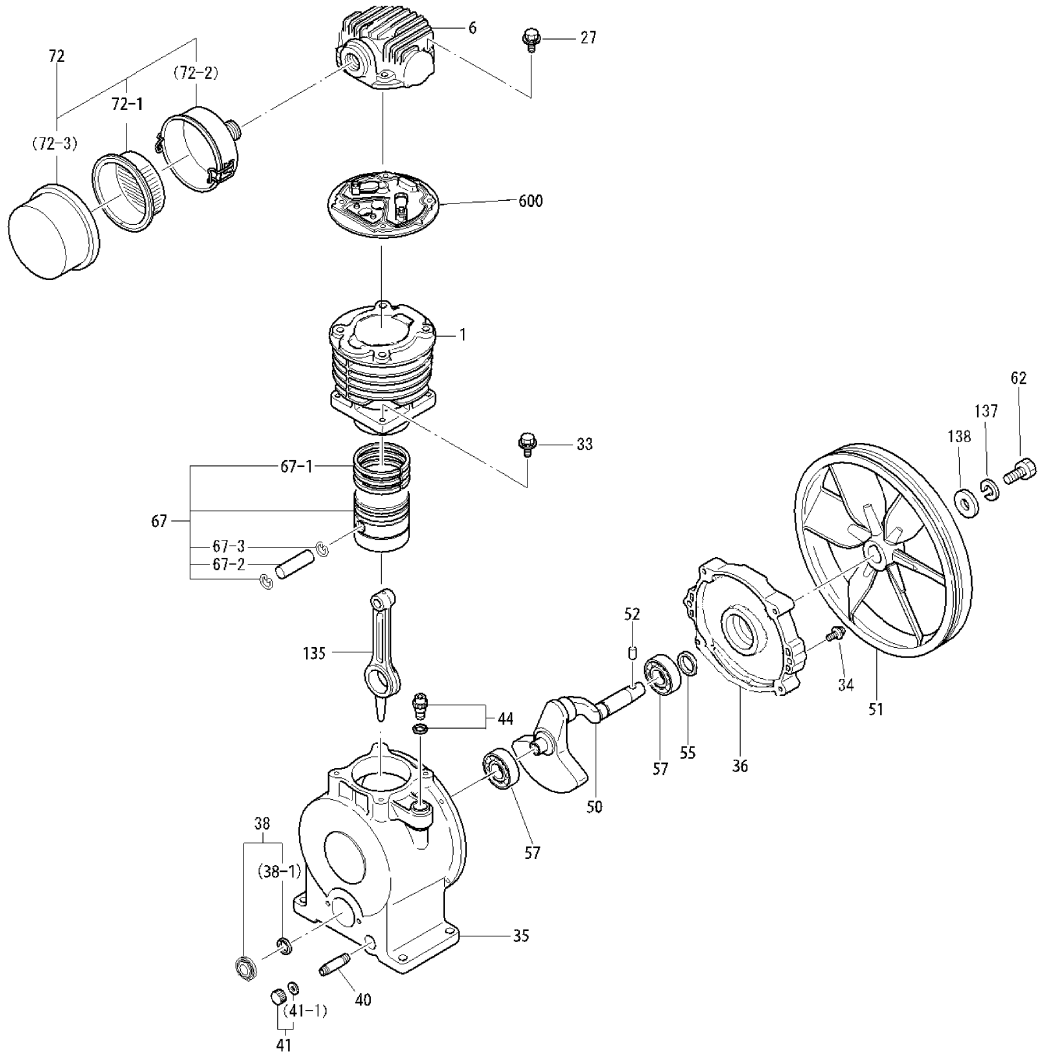
部品表

番号	部　品　名	個数	番号	部　品　名	個数
※17	運転スイッチ	1	128	高力六角ボルト	1
18	電装箱	1	129	アプセットボルト	9
19	電装箱蓋	1	164	特殊エルボ	1
24	ボールバルブ	1	169	ガード押えステー	1
※29	Ｖベルト（50Hz）	1	186	タッピンねじ	12
※30	Ｖベルト（60Hz）	1	203	特殊エルボセット	1
31	ベルトガード（１）	2	204	空気タンクセット	1
32	ベルトガード（２）	2	204-1	車輪	4
33	ガード吊りステー	1	204-2	止め輪	4
35	電動機コード	1	205	圧縮機本体	1
51	ボルト	4	241	膜付グロメット	1
57	ｶﾞｰﾄﾞｽﾃｰ(1)	1	246	ストリートエルボ	1
60-1	本体カバー(1)	1	249	ストリートエルボ	1
60-2	本体カバー(2)	1	260	バレルニップル	1
61	電動機プーリ（50Hz）	1	※324	圧力開閉器	1
62	電動機プーリ（60Hz）	1	325	ハーフユニオン	3
90	接続管セット	1	330	圧力開閉器コード1	1
97	ナイロンチューブ	1	331	圧力開閉器コード2	1
102	電動機	1	347	タッピンネジ	2
103	電磁開閉器	1	364	結束バンド	1
104	電磁弁セット	1	367	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 1	1
111	安全弁	1	368	運転ｽｲｯﾁｺｰﾄﾞ 2	1
※112	圧力計	1	375	ナイロンチューブ	1
116	バレルニップル	2	376	ボールバルブ	1
118	ドレンバルブ	1			

注１.※の部品は、消耗品です。
注２.17,97,104,325,367,368 は、7.5kW・1MPa 仕様にありません。

立体分解図

圧縮機本体（形式 ＬＳ２０Ｃ）

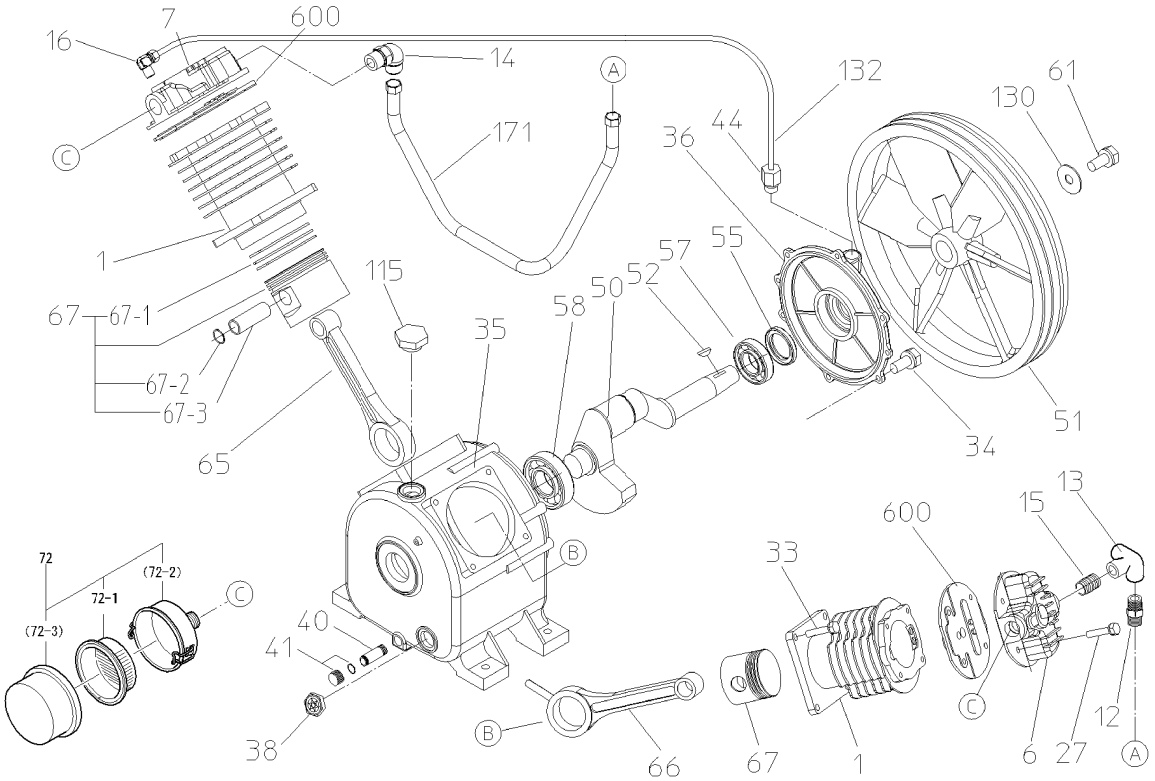


部品表

番号	部品名	個数
1	シリンダ	1
6	シリンダカバー	1
27	ボルト	4
33	ボルト	4
34	ボルト	4
35	クランク室	1
36	軸受箱	1
38	油量計セット	1
40	オイル抜きパイプ	1
41	オイル抜き蓋セット	1
44	ブリーザセット	1
50	クランク軸	1
52	平行ピン	1
55	オイルシール	1
57	ラジアル玉軸受	2
62	高力六角ボルト	1
67	ピストンセット	1
※67-1	ピストンリングセット	1
67-2	ピストンピン	1
67-3	止め輪	2
72	吸込口セット	1
※72-1	フィルタ	1
135	連接棒	1
137	バネ座金	1
138	平座金	1
600	弁セット	1

※の部品は消耗部品です。

圧縮機本体（形式 ＬＳ３０Ｃ）



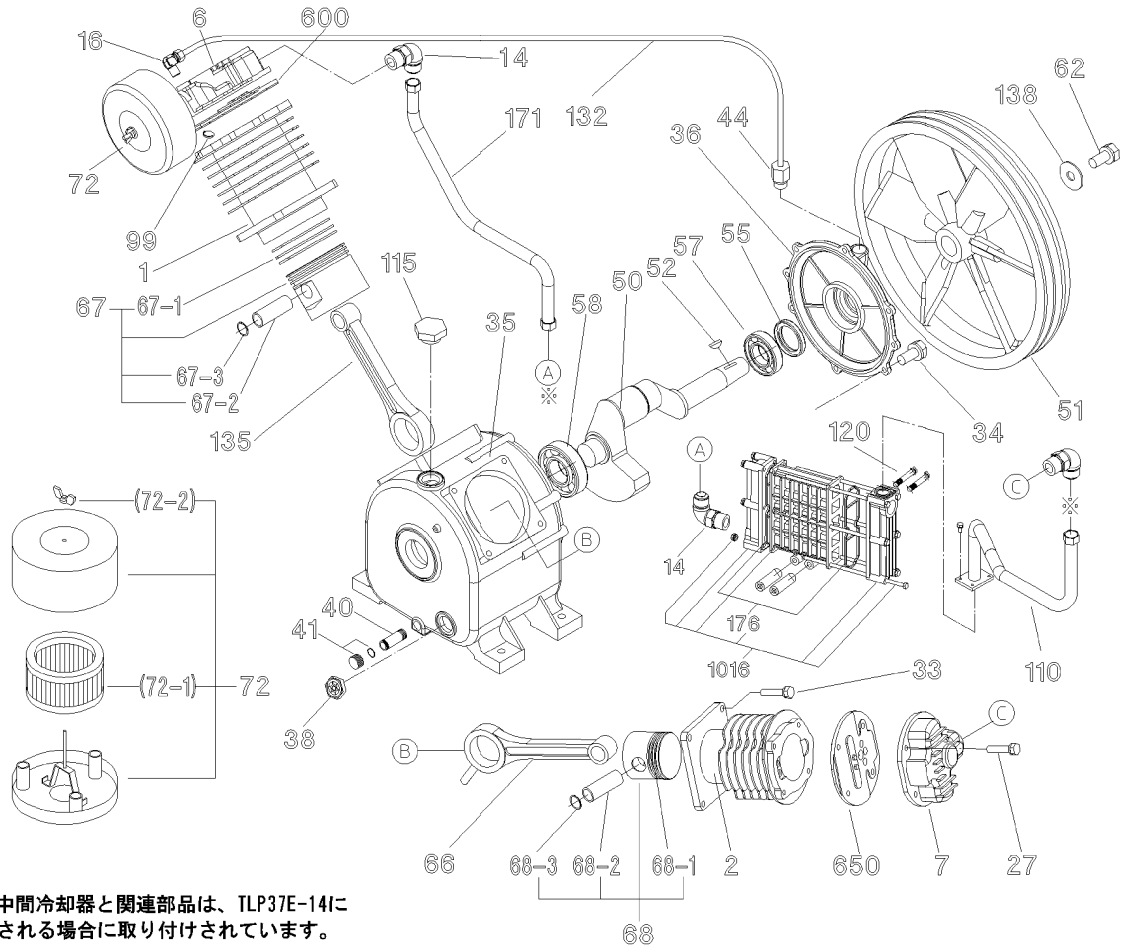
部品表

番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	シリンダ（ＬＰ）	1	58	ラジアル玉軸受	1
6	シリンダカバー	1	61	高力六角ボルト	1
7	シリンダカバー	1	65	連接棒	1
12	フレアジョイント	1	66	連接棒	1
13	3方ジョイント	1	67	ピストンセット	2
14	特殊エルボ	1	※67-1	ピントンリングセット	2
15	ニップル	1	67-2	ピストンピン	2
16	エルボユニオン	1	67-3	リティナ	4
27	ボルト	8	72	吸込口セット	1
33	ボルト	8	※72-1	フィルタ	1
34	ボルト	4	72-2	蝶ナット	
35	クランク室	1	110	冷却器パイプ	1
36	軸受箱	1	115	注油口キャップ	1
38	油量計セット	1	130	平座金	1
40	オイル抜きパイプ	1	132	ブリーザパイプ	1
41	オイル抜き蓋セット	1	171	接続管セット	1
44	ブリーザセット	1	600	弁セット	2
50	クランク軸	1			
51	フライホイールプーリー	1			
52	半月キー	1			
57	ラジアル玉軸受	1			

※印の部品名は消耗品です。

立体分解図

圧縮機本体（形式 LT50C）



1016中間冷却器と関連部品は、TLP37E-14に搭載される場合に取り付けされています。

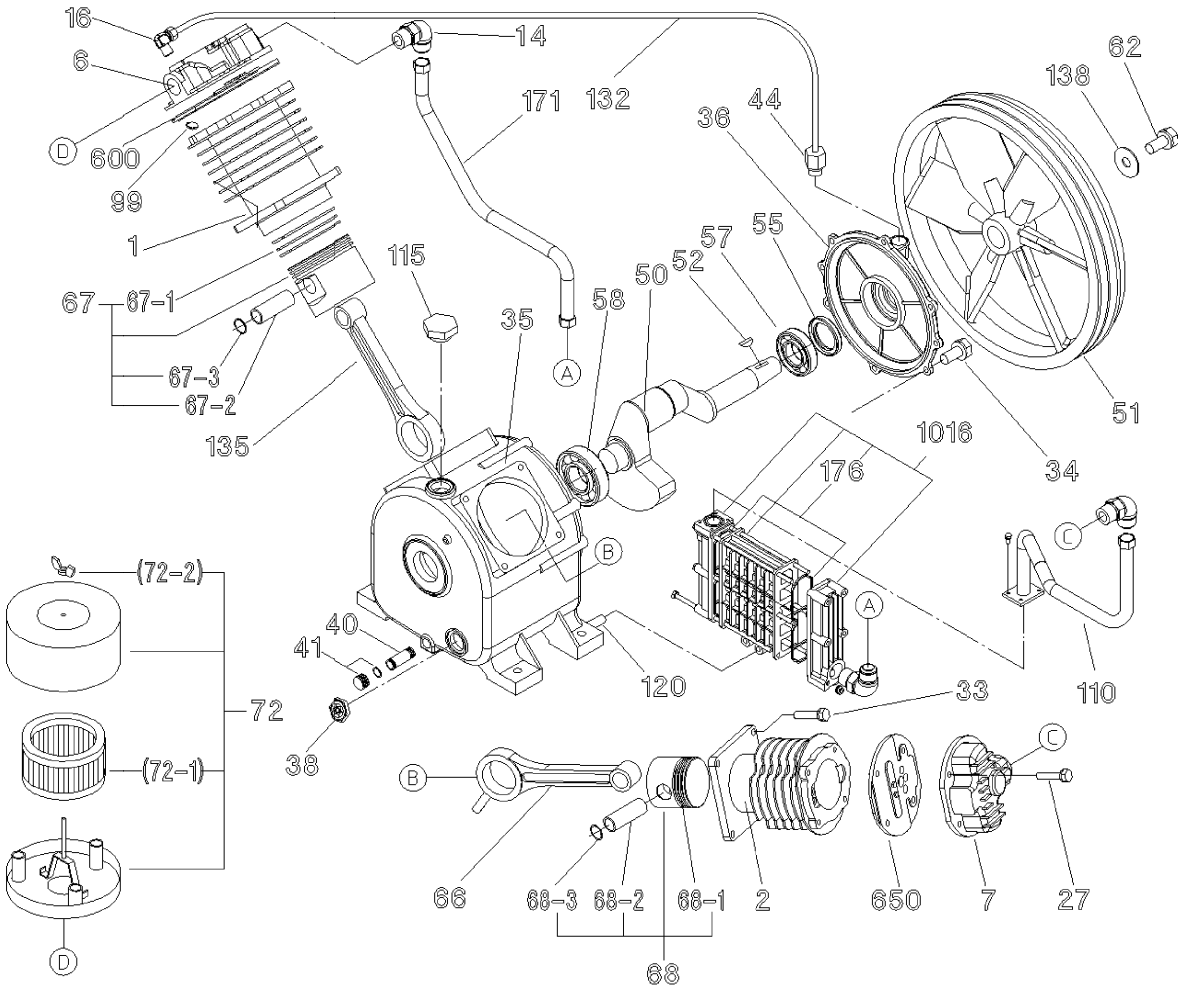
部品表

番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	シリンダ（ＬＰ）	1	67	ピストンセット（LP）	1
2	シリンダ（ＨＰ）	1	※67-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸﾞｾｯﾄ（LP）	1
6	シリンダカバー（LP）	1	67-2	ピストンピン	1
7	シリンダカバー（HP）	1	67-3	リティナ	2
14	特殊エルボ	3	68	ピストンセット（HP）	1
16	エルボユニオン	1	※68-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸﾞｾｯﾄ（HP）	2
27	ボルト	10	68-2	ピストンピン	1
33	ボルト	8	68-3	リティナ	2
34	ボルト	10	72	吸込口セット	1
35	クランク室	1	※72-1	フィルタ	1
36	軸受箱	1	72-2	蝶ナット	
38	油量計セット	1	※99	シート	1
40	オイル抜きパイプ	1	110	冷却器パイプ	1
41	ｵｲﾙ抜き蓋ｾｯﾄ		115	注油口キャップ	1
44	ブリーザセット	1	120	ボルト	2
50	クランク軸	1	132	ブリーザパイプ	
51	フライホイールプーリー	1	138	平座金	1
52	半月キー	1	171	冷却管セット	1
57	ラジアル玉軸受	1	1016	冷却器セット	1
58	ラジアル玉軸受	1	※176	冷却器パッキン	2
62	高力六角ボルト	1	600	パッキン付弁セット（LP）	1
135	連接棒セット（ＬＰ）	1	650	パッキン付弁セット（HP）	1
66	連接棒セット（ＨＰ）	1			

※印の部品名は消耗品です。

立体分解図

圧縮機本体（形式 LT75E）



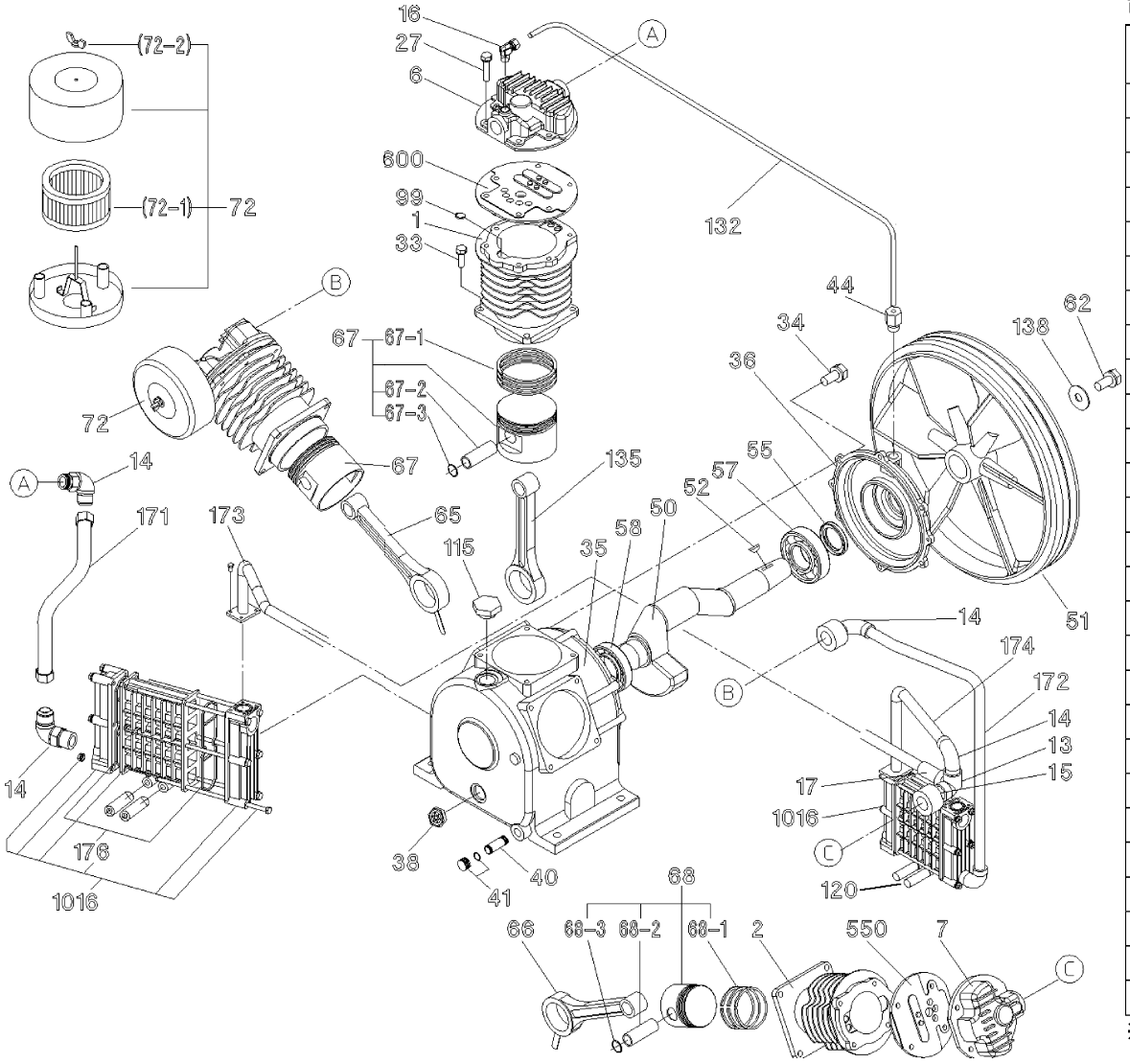
部品表

番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	シリンダ（ＬＰ）	1	67	ピストンセット（LP）	1
2	シリンダ（ＨＰ）	1	※67-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸﾞｾｯﾄ（LP）	1
6	シリンダカバー（LP）	1	67-2	ピストンピン	1
7	シリンダカバー（HP）	1	67-3	リティナ	2
14	特殊エルボ	3	68	ピストンセット（HP）	1
16	エルボユニオン	1	※68-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸﾞｾｯﾄ（HP）	2
27	ボルト	10	68-2	ピストンピン	1
33	ボルト	8	68-3	リティナ	2
34	ボルト	10	72	吸込口セット	1
35	クランク室	1	72-1	フィルタ	1
36	軸受箱	1	72-2	蝶ナット	1
38	油量計セット	1	99	シート	1
40	オイル抜きパイプ	1	110	冷却器パイプ	1
41	ｵｲﾙ抜き蓋ｾｯﾄ		115	注油口キャップ	1
44	ブリーザセット	1	120	ボルト	2
50	クランク軸	1	132	ブリーザパイプ	1
51	フライホイールプーリー	1	138	平座金	1
52	半月キー	1	171	冷却管セット	1
57	ラジアル玉軸受	1	1016	冷却器セット	1
58	ラジアル玉軸受	1	※176	冷却器パッキン	2
62	高力六角ボルト	1	600	パッキン付弁セット（LP）	1
135	連接棒セット（ＬＰ）	1	650	パッキン付弁セット（HP）	1
66	連接棒セット（ＨＰ）	1			

※印の部品名は消耗品です。

立体分解図

圧縮機本体（形式 LT100E LT150E）



部品表

番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	シリンダ（ＬＰ）	2	67	ピストンセット（LP）	2
2	シリンダ（ＨＰ）	1	※67-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸﾞｾｯﾄ（LP）	2
6	シリンダカバー（LP）	2	67-2	ピストンピン	2
7	シリンダカバー（HP）	1	67-3	リティナ	4
13	三方ジョイント	1	68	ピストンセット（HP）	1
14	特殊エルボ	5	※68-1	ﾋﾟｽﾄﾝﾘﾝｸｾｯﾄ（HP）	1
15	ニップル	1	68-2	ピストンピン	1
16	エルボユニオン	1	67-3	リティナ	2
17	フレアジョイント	1	72	吸込口セット	2
27	ボルト	16	72-1	フィルタ	2
33	ボルト	8	72-2	蝶ナット	2
34	ボルト	10	※99	シート	3
35	クランク室	1	108	三方ジョイント	1
36	軸受箱	1	115	注油口キャップ	1
38	油量計セット	1	120	ボルト	2
40	オイル抜きパイプ	1	132	ブリーザパイプ	1
41	ｵｲﾙ抜き蓋ｾｯﾄ	1	138	平座金	1
44	ブリーザセット	1	1016	冷却器セット	2
50	クランク軸	1	171	冷却管セット(3)	1
51	フライホイールプーリー	1	172	冷却管セット(1)	1
52	半月キー	1	173	冷却管セット(2)	1
57	ラジアル玉軸受	1	174	冷却管セット(4)	1
58	ラジアル玉軸受	1	※176	冷却器パッキン	6
62	高力六角ボルト	1	600	パッキン付弁セット(LP)	2
65	連接棒セット（ＬＰ）	1	650	パッキン付弁セット(HP)	1
135	連接棒セット（ＬＰ）	1			
66	連接棒セット（ＨＰ）	1			

※印の部品名は消耗品です。

アネスト岩田株式会社